

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

知的障がい者通勤寮 レジデンスなごそ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 78-1336 ㊟(0246) 65-4160

ケアホーム・グループホーム
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりぎり、コーポおかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5222

知的障がい者更生施設ふじみ更生園
ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

虹のかけはし
〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7
植田ビル2F
☎(0246) 77-2885 ㊟(0246) 77-2886

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町11-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

手打ちうどん 天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033

ヘルパーステーションあくていぶ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5700 ㊟(0246) 65-4160

児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

東日本大震災による 法人内施設・各事業所の被災状況について②

東日本大震災から1ヶ月後の平成23年4月11日17時16分、福島県浜通りを震源とするM7.0、最大震度6弱の余震が起き、大きな被害が出ました。翌12日14時7分にも浜通りを震源とする最大震度6弱の余震が観測され、福島県いわき市ではこれらの余震により9割近く復旧していたライフラインが再び寸断され、各地で停電、断水にみまわれました。

今回の余震における当法人の各施設・各事業所の被害状況についてご報告致します。

<小規模多機能型就労継続支援B型 虹のかけはし>

自宅待機を余儀なくされていた利用者が4月より出勤を再開し、虹のかけはしは利用者の笑顔で溢れ、賑やかな時間が戻ってきました。作業時間の短縮や放射能への不安を懸念して訪問販売が出来ない等といった規制はありましたが、皆に逢える場所が戻ってきた幸せを噛み締めていました。

東日本大震災から1ヶ月が経った4月11日の14時46分には利用者・職員共に黙祷を捧げ、1ヶ月前のあの日を振り返り、これから前へ進もうとしたその日に再び大きな余震に見舞われました。幸い利用者が退勤した後での余震でありましたが、停電・断水と1ヶ月前の振り出しに戻ってしまいました。翌日の利用者の出勤は余震の影響を懸念し、再度自宅待機をするといった判断になりました。

再び大きな余震に見舞われた4月12日は今までの地震に耐え守ってくれた虹のかけはしのビルのガラスは割れ落ち、ビルの外壁や階段には亀裂が入り、作業室内は移動困難な程に物が散乱し、見

る影もなくなりました。地盤沈下が激しく、マンホールから噴出した水が悲惨な現実を物語っていました。地震後直ぐに『利用者は大丈夫だろうか?』との不安が過ぎり、電話連絡を行い全員の無事を確認する事が出来ました。『利用者がこの日もし出勤していたら…?』と想像すると怖ろしく、自宅待機という判断を下した事が不幸中の幸いでした。この日が虹のかけはしにとって、最大の試練の日となりました。そして、今後の利用者・職員の人生を変えた日となり、これから先決して忘れる事はないでしょう。

翌日に今後の虹のかけはしについての緊急会議を開き、利用者には再び自宅待機を強いる形となりました。虹のかけはしのビルは半壊で使用出来ない状態にあり、移転しなければならない現実と『利用者が一日でも早く出勤出来る場所を作りたい』という気持ちを職員全員が強く持ち、時には歩いて空き店舗を探し回りました。職員間で話し合いを重ね、意見を出し合い行き着く先はやはり『地震のせいで利用者がバラバラになって欲しくない』という想いでした。焦る気持ちが空回りし、

時間ばかりが過ぎていく日々の中で利用者が独りで家にいるという現実や保護者が職場に利用者を連れて行っているという現実を思い知らされる度に、心が苦しくなりました。

5月下旬には、時間を短縮しての勤務ではありますが、天真庵の場所を借りて弱電作業や工場へ出向いて段ボール作業を行い、間借りなりにも利用者の出勤出来る場を作る事が出来ました。また、6月中旬には今後虹のかけはしの場所が小名浜に移る事について、保護者への説明会を開催しました。利用者からは今後小名浜へ移転する事に対する不安の言葉も聞かれており、まだまだ再開へ向けて解決すべき課題が多々ある状態であります。

ゆっくりとした速度ではありますが、虹のかけはしは少しずつ前へ進んでいます。この大きな試練を利用者・保護者・職員が一体となって乗り越えた暁には、今まで以上に素晴らしい虹が架かることを信じて、日々努力して参りたいと思います。

＜小規模多機能型就労継続支援B型 天真庵＞

3月の大震災においては幸いなことに持ち堪え、新年度より新たなスタートを切った天真庵でしたが、4月11、12日に立て続けに起こった余震では大きなダメージを受け、店舗は酷く損傷し、営業することは困難な状況に陥り、通所を再開したばかりであった利用者には、自宅待機を強いられる形となってしまいました。そんな中でも厨房内は通常通りに使用することが出来た為、作業を弁当の調理・販売に限定し、5月より作業を再開しました。現在も利用者の出勤に関しては安全面の配慮から作業時間を短縮するなど、幾つかの条件付きではありますが、保護者からの了解を得る形で以前のように稼動しています。以前に比べると短い作業時間ではありますが、日中活動としての機能、そして何よりも、顔を合わせてのコミュニケーションによって日々の不安やストレスが軽減されているのではないかと、職員も利用者との関わりを通して感じています。

天真庵の今後については、次年度に向けて移転の方向で検討しております。震災に伴い物件の需要が高まっており、なかなか条件に合う移転先を決められずにいるのが現状ではありますが、いず

れにしても、一刻も早く以前のように利用者が地域に開かれた環境で作業を行なう基盤を取り戻したいと強く願っています。

＜救護施設 やしおみ荘＞

当日は午後から雷や雨がひどく、灰色の薄暗い空が印象的でした。利用者も職員も夕食前で食事の準備をしている時間で、突然起こった大きな地震で3月に起こった大震災を思い出し一時は騒然としましたが、すぐに冷静になり、職員の指示で全員の安否を確認するため、食堂に集まりました。施設の2階の天井板が落ち、天井の暖房器もずれる等の被害がありましたが、利用者・職員共に怪我もなく、全員の無事を確認しました。2階は危険と判断し、利用者は1階の居室で過ごして頂きました。一つ一つの余震が大きい為、職員が声を掛け、利用者同士も励まし合いながら、その夜を過ごしました。

今回の地震で一番の被害は、水道でした。3月の大震災では被害がなかったものの、今回は震源地が施設の近くということもあり、止水してしまいました。食事では支援物資で頂いた缶詰やカップ麺を中心に、何とか1日3食を提供することができました。しかし食器も洗えない状況の為、食器を汚さないよう使い捨ての皿を使用したり、おにぎりをラップに包んで配膳する等工夫しました。止水は食事だけでなく、トイレや入浴、洗濯にも大きく影響し、給水車から水を運び、食器用と排泄用に分け、特に排泄については大きな桶にたくさんの水を入れ、排泄毎にバケツに水を汲んで流しました。市内の給水車だけでは無く、全国各地の給水車が応援に来て下さり、全国救護施設協議会様・救護施設郡山せいわ園様等、各関係機関より支援物資として多くの飲料水を頂きました。また使用したトイレトペーパーを流さないようにゴミ袋を用意するなど、普段何気なく使用している場面でも、水の大切さを痛感しました。やっと水が出たのは約1週間後で、蛇口をひねって水が出た時、利用者と共に感動しました。

通勤路では路面崩壊や土砂崩れが数か所で発生し、通勤では遠い迂回路を通らなければならず、しばらく通行止めの為、現在も通勤に支障が出ています。

そして翌日の12日午後2時07分にも地から突き上げるような地震が発生しました。震度は6弱で前日と同じでした。震源地が隣町の古殿であり、連日の地震に心身ともに疲れてしまいましたが、幸い今回も怪我をした利用者は一人もなく、職員一同安堵しております。

現在は放射能の値もピークを越え、落ち着いてはいますが、東京電力福島第一原子力発電所がまだ先が不透明であり、余震や地鳴りが続き、予断を許さない状況ですが、利用者・職員共々体調管理に気をつけ、安全確保に努めて参りたいと思います。

<知的障害者更生施設 ふじみ更生園>

4月11日(月)17:16ころ、福島県浜通りを震源とするM7.1の地震が発生しました。東日本大震災からちょうど1ヶ月後のことでした。東日本大震災の傷も癒えぬうちに起きたこの地震は、私たちにさらなる大きな不安を抱かせるものでした。

ふじみ更生園では、幸い利用者に怪我もなく、また、施設自体も無事でしたが、停電と断水の被害に見舞われました。電気は翌日には復旧しましたが、断水はしばらく続きました。そのため支援物資や給水所で飲料水を確保し、自衛隊による給水により生活用水を確保しました。入浴も断水中は中止して清拭を行い、復旧後も週に3日ほどしか行えませんでした。

6月1日現在では、通常通りの日課を行っており、利用者の楽しみにしている外出もまもなく再開されます。入浴も土・日曜日を除いて毎日行っています。東京電力福島第一原子力発電所の状況が一向に改善せず、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、われわれふじみ更生園は震災に負けず頑張っています。

<ヘルプステーションあくていぶ>

3月11日の東日本大震災以降、次第にライフラインが復旧し始めたと思われた矢先、4月11日・12日に震度6の直下型大地震が相次いで起こり、ライフラインに大きなダメージが再び発生いたし

ました。あくていぶの事務所がある、植田駅前のビルも大きな被害に遭い、避難せざるを得ない状況となり、翌日から全ての荷物を運び出した以降は、同法人のレジデンスなこそこの事務所の一部に所在させて頂きました。サービス提供は、移動支援や家事代行で給水所から水を汲むお手伝いをする事等も、行いました。また、避難先から戻ってきた利用者の方で、再度避難される方もおり、避難先へのサービス提供も実施いたしました。

5月以降も事務所の状態は変わりませんが、徐々にライフラインが復旧すると、避難をされていた利用者もご自宅へ戻る事が出来るようになりました。家事援助でのサービス提供や、移動支援での行き先や公共施設の利用できる範囲も、少しずつ広がってきており、利用者の希望に合わせ、以前のようにサービス提供できる状態に戻りつつあります。

未だ、利用者を始め皆様には、ご不便をお掛けしている部分もあるかと思われませんが、サービス提供については、今まで以上に質の良いものをと、ヘルパー一同頑張っておりますので、今後とも変らぬご愛顧とご協力を宜しくお願い申し上げます。

また、山形県身体障害者福祉協会様より、杖・ビニール手袋・消毒剤等の支援物資を頂きました。必要としている利用者にお渡しする事が出来ました。本誌をお借りしてお礼を申し上げます。

支援物資を頂いた方

(やしおみ荘)

- 牛久ボランティア代表 花澤一枝 様
- 全国救護施設協議会 様
- 東北救護施設協議会 様
- 郡山せいわ園 様
- 日本ユニバー震災対策チーム 様

(ふじみ更生園)

- 長浜市社会福祉協議会 様

平成22年度 貸借対照表

(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部					負 債 の 部				
科 目	合計金額	一般会計	公 益	多 機 能	科 目	合計金額	一般会計	公 益	多 機 能
流 動 資 産	181,073,531	164,952,836	1,357,646	14,763,049	流 動 負 債	12,082,863	11,154,298	0	928,565
固 定 資 産	939,524,719	932,419,861	0	7,104,858	固 定 負 債	62,791,618	60,470,200	0	2,321,418
					負 債 の 部 合 計	74,874,481	71,624,498	0	3,249,983
					純 資 産 の 部				
					基 本 金	129,382,165	129,382,165	0	0
					国庫補助金等特別積立金	286,065,649	284,178,982	0	1,886,667
					そ の 他 の 積 立 金	157,699,000	157,699,000	0	0
					次期繰越活動収支差額	472,576,955	454,488,052	1,357,646	16,731,257
					純 資 産 の 部 合 計	1,045,723,769	1,025,748,199	1,357,646	18,617,924
資産の部合計	1,120,598,250	1,097,372,697	1,357,646	21,867,907	負債及び純資産の部合計	1,120,598,250	1,097,372,697	1,357,646	21,867,907

- 脚注 1. 受取手形割引高及び裏書譲渡高 0円
 2. 減価償却費の累計額 654,583,176円
 3. 徴収不能引当金の額 0円

平成22年度 財産目録

(平成23年3月31日現在) (単位：円)

資産・負債の内訳		金 額	資産・負債の内訳		金 額
流 動 資 産			その他の固定資産計		267,774,004
現金預金	131,406,292		固定資産計	939,524,719	
売掛金	252,580		資産計		1,120,598,250
原材料	190,827		流 動 負 債		
未収金	45,377,447		未払金	12,082,863	
前払金	3,846,385		流動負債計	12,082,863	
流動資産計	181,073,531		固 定 負 債		
固 定 資 産			設備資金借入金	27,850,000	
基本財産			退職給料引当金	34,941,618	
建物	508,265,129		固定負債計	62,791,618	
土地	162,485,586		負債合計		74,874,481
基本財産特定預金	1,000,000		差額純資産		1,045,723,769
基本財産計	671,750,715				
その他の固定資産					
建物	36,163,728				
構築物	9,806,280				
機械及び装置	2,297,715				
車輛運搬具	9,240,511				
器具及び備品	9,083,084				
土地	52,256				
権利	7,630,792				
人件費積立預金	60,630,000				
敷金	780,000				
保証金	36,000				
施設整備等積立預金	97,069,000				
退職共済預け金	34,941,618				
リサイクル預託金	43,020				

社会福祉法人誠心会 役員・評議員

	氏 名		氏 名	氏 名
1	役員・評議員 松崎 有 一	9	監 事 久野 俊 三	17 評 議 員 秋 山 司
2	役員・評議員 遠藤 麒三郎	10	監 事 小野 弘 二	18 評 議 員 今 泉 明 美
3	役員・評議員 平子 満	11	評 議 員 新妻 幸 友	19 評 議 員 清 水 信 弘
4	役員・評議員 中島 國 晴	12	評 議 員 清水 敏 男	20 評 議 員 小 松 博
5	役員・評議員 須能 則 和	13	評 議 員 蛭田 克	21 評 議 員 鈴 木 基 寛
6	役員・評議員 草野 洋 治	14	評 議 員 鈴木 一	22 評 議 員 中 野 光
7	役員・評議員 渡辺 敏 夫	15	評 議 員 鎌田 真理子	
8	役員・評議員 上遠野 重 行	16	評 議 員 斎藤 七 重	

平成22年度 事業活動収支内訳書

(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位：円)

		勘 定 科 目	合 計	一 般 会 計	公 益	多 機 能	
活動収支の部	収入	就労支援事業収入	11,601,068	0	0	11,601,068	
		就労支援事業活動収支計(1)	11,601,068	0	0	11,601,068	
	支出	就労支援事業支出	30,935,062	0	0	30,935,062	
		就労支援事業活動収支計(2)	30,935,062	0	0	30,935,062	
			就労支援事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	-19,333,994	0	0	-19,333,994
事業活動収支の部	収入	自立支援費等収入	306,915,529	254,932,899	0	51,982,630	
		利用料収入	65,040,690	65,040,690	0	0	
		措置費収入	167,237,125	167,237,125	0	0	
		私的契約利用料収入	2,654,154	2,629,540	24,614	0	
		補助事業等収入	9,418,702	7,980,239	0	1,438,463	
		経常経費補助金収入	13,974,395	13,841,761	132,634	0	
		寄付金収入	1,505,810	1,505,810	0	0	
		雑収入	8,476,573	8,252,802	0	223,771	
		引当金戻入	2,861,705	2,699,802	0	161,903	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	19,269,906	18,810,739	0	459,167	
			事業活動収入計(4)	597,354,589	542,931,407	157,248	54,265,934
	支出	人件費	340,157,727	320,066,113	64,312	20,027,302	
		事務費支出	53,231,228	42,879,158	8,221	10,343,849	
		事業費支出	106,219,834	105,883,184	13,063	323,587	
		減価償却費	37,631,748	36,572,978	0	1,058,770	
徴収不能額		0	0	0	0		
引当金繰入		3,025,183	2,743,031	0	282,152		
		事業活動支出計(5)	540,265,720	508,144,464	85,596	32,035,660	
		事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	57,088,869	34,786,943	71,652	22,230,274	
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	768,240	768,240	0	0	
		受取利息配当金収入	17,899	16,644	0	1,255	
		会計単位間繰入金収入	0	0	0	0	
		経理区分間繰入金収入	15,260,000	12,580,000	0	2,680,000	
			事業活動外収入計(7)	16,046,139	13,364,884	0	2,681,255
	支出	借入金利息支出	768,240	768,240	0	0	
		会計単位間繰入金収入	0	0	0	0	
		経理区分間繰入金支出	15,260,000	12,580,000	0	2,680,000	
				事業活動外支出計(8)	16,028,240	13,348,240	0
		事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	17,899	16,644	0	1,255	
		経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	37,772,774	34,803,587	71,652	2,897,535	
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	1,280,000	1,280,000	0	0	
		施設整備等寄付金収入	1,570,000	1,570,000	0	0	
		移行時差額繰入金収入	0	0	0	0	
		その他の特別収入	0	0	0	0	
				特別収入計(11)	2,850,000	2,850,000	0
	支出	基本金組入額	0	0	0	0	
		固定資産売却損・処分損(売却原価)	26,908	26,908	0	0	
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,280,000	1,280,000	0	0	
		移行時差額繰入金支出	0	0	0	0	
		特別支出計(12)	1,306,908	1,306,908	0	0	
		特別収支差額(13)=(11)-(12)	1,543,092	1,543,092	0	0	
収支差額の活動			当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	39,315,866	36,346,679	71,652	2,897,535
			前期末繰越活動収支差額(15)	448,261,089	433,141,373	1,285,994	13,833,722
			当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	487,576,955	469,488,052	1,357,646	16,731,257
			その他の積立金取崩額(17)	0	0	0	0
			その他の積立金積立額(18)	15,000,000	15,000,000	0	0
		次期繰越活動収支差額(19)=(16)+(17)-(18)	472,576,955	454,488,052	1,357,646	16,731,257	

ミュージックケアで皆笑顔!!

ふじみ更生園

5月25日(水)、NPO法人日本ミュージック・ケア協会 東日本大震災支援プロジェクトチームがふじみ更生園に来ていただきました。講師は、認定指導者岩城美喜子先生、松本鈴子先生、いわき研究会メンバー馬目よし子さんと薄葉幸子さんです。これらの先生方の指導のもとミュージックケアが行われました。これまでも当園では音楽療法としてミュージックケアを取り入れており、鳴子やシャボン玉を使うプログラムはとても人前で、みなさん楽しみにしています。当日は新しいプログラムも行いました。パチを使用しリズムに合わせて専用のマットを叩くもの、音楽に合わせてスカーフをなびかせるもの等先生を手本としながらいきいきと活動していました。終了後、皆さんの感想



を聞いたところ「楽しかった」「またやろうね」との声が多く聞かれました。震災後、余震への恐怖等からストレスを感じていましたが、この日は久しぶりの笑顔も見られ、交流ホーム内には元気な笑い声であふれていました。来園して下さった先生方、楽しい時間を本当にありがとうございました。

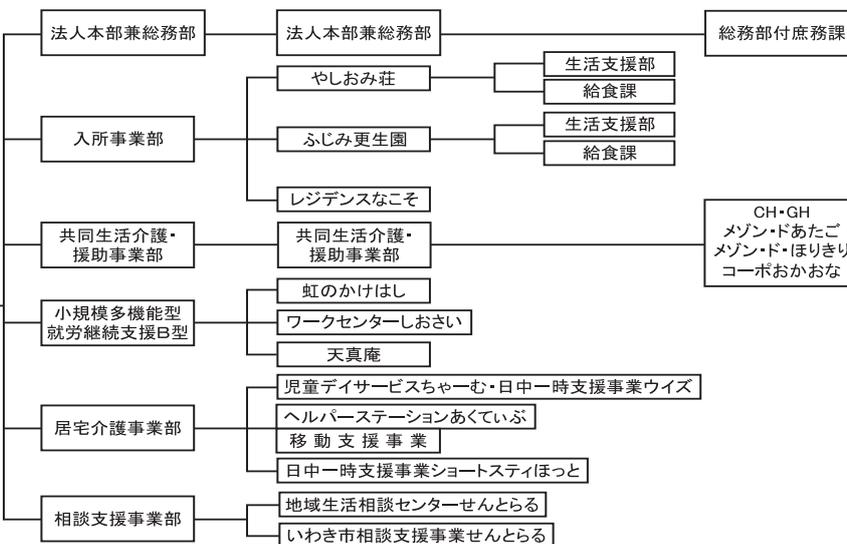
平成23年度 社会福祉法人 誠心会「組織表」

法人理事会・評議員会

顧問 会計士
嘱託 医師
苦情解決第三者委員等

社会福祉法人
誠心会 理事長

各事業部連絡会議
リスクマネジメント委員会
広報委員会
苦情解決委員会
ケアサービス調整会議
人権擁護委員会



人事異動

氏名	新	氏名	新
渡辺誠二郎	入所事業部やしおみ荘生活支援部主幹心得	武田 智哉	入所事業部レジデンスなこそ生活支援部ケースワーカー
箱崎 博道	相談支援事業部地域生活相談せんとらる副主任相談支援員	千葉 亮	入所事業部ふじみ更生園生活支援部ケースワーカー
浄土 洋輔	入所事業部ふじみ更生園生活支援部副主任ケースワーカー	岩屋 伸哉	通所事業部就労継続支援事業B型(虹のかけはし)臨時ケースワーカー
永井 千尋	通所事業部就労継続支援事業B型(しおさい)副主任ケースワーカー	芳賀 悠太	入所事業部ふじみ更生園生活支援部臨時ケースワーカー
松崎加奈子	通所事業部就労継続支援事業B型(虹のかけはし)副主任ケースワーカー		

寄付を頂いた方 佐藤理容所 様

編集後記

今年もちゃんと夏が来ました。震災があっても季節は同じように巡ってくると改めて実感し、少しほっとしています。

今年、蛍を見に行きました。川辺に沢山のホタルが飛んでいて、とても幻想的な景色でした。ホタルのようにその時その時を精一杯前に向かって進んでいきたいと思います。

これからの予定

やしおみ荘

8月
◎夏まつり 7日
◎未帰省者食事会 17日

9月
◎日帰り旅行
A 21日
B 9日

ふじみ更生園

7月
◎フレンドリー
シップinふじみ
8月
◎夏期一時帰省
◎未帰省者外出
9月
◎ふじみの森・と
おの復興祭
17日

虹のかけはし

ワークセンターしおさい
レジデンス・GH/CH合同
◎夏期一時帰省

せんとらる

デイサービスチャーむ

7月
◎七夕
8月
◎スイカ割り・カ
レー作り
9月
◎お月見

天真庵